



学校だより

6月号
横浜市立桜台小学校
令和6年5月31日発行



HPはこちらから

桜台の子どもたちが、これから身につけてほしい力

副校長 柴 諭

5月10日(金)に令和6年度第1回目の学校運営協議会が開かれ、活発な議論がなされました。詳しくは今月の学校便りの記事としても掲載されていますが、議論の中心となったひとつが、「子どもたちが、これから身につけていくべき力は何か」というテーマでした。

右の図は、現行の学習指導要領について文部科学省が作成したリーフレットから引用したものです。知識や技能はもちろん大切ですが、これからの社会がどのように変化しても、自ら学び、自ら考え、判断して行動に移していくことができる力も身につけていかなければいけません。

スマートフォンの登場やコロナ禍、生成AIの発展など、21世紀の20年あまりの中での大きな変化はまさしく「予測することができなかつた社会」でした。同じように、子どもたちが成長し、社会で活躍していくことになる次の20年後の社会を予測することは非常に難しいでしょう。

運営協議会で検討されたのもまさにこの観点で、「自立的に考える力」「正解のない問いにも自分なりの最適解を出そうとする力」の重要性と、そのための学校・家庭・地域の在り方について意見が交わされました。そして、学校として大切にしている、「できた!」の積み重ねと、「やりたい!」の発見や創出は、これらの力の育成にしっかりとつながっていると考えています。

桜台小学校では「自分の思いや願いを実現しようとする子」という学校教育目標の実現に向けて、また、「関わるすべての人々が、共に学び合い高め合う学校」を目指して、各教科等の学習に加えて様々な人と関わりながら多様な学びを進めていくことができるよう、教育活動を行っています。そして、今年度もPTAや学援隊、図書ボランティアなどのみなさんに加え、高学年の家庭科実習や2年生のまち探検の見守りなど、多くの方々にも厚いご協力をいただいております。感謝の念に堪えません。

様々な場で過ごし、学んでいく子どもたちが、それぞれの思う自他の幸せの実現に向けてこれからの時代をたくましく生き抜く力を身につけていくために、今後とも学校・家庭・地域が思いを共有しながら連携し、協働してまいりたいと思っています。ご理解、ご協力いただければ幸いです。

